



散布日	散布時期	散布薬剤（水 10ℓ当）	濃度	散布量 1 a 当り	対象病害虫	注意事項
／	育苗中	① 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) トップジンM 水和剤 (6.6g)	10,000 倍 1,500 倍	10ℓ	立枯病	① 苗立枯が心配される時は、 リゾレックス水和剤 1,000 倍液 を使用。 ② アザミウマ類防除はオンコル粒 剤を箱内散布 3g/1 箱
／	定植後	② 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) オーソサイド水和剤 80 (16.6g)	10,000 倍 600 倍	20ℓ	立枯病	
	定植後 株元散布	オルトラン粒剤 粘着シート（青）設置	-	600g 各 5 枚	アブラムシ類 アザミウマ類 ヨトウムシ類	① ネキリムシ類は、朝夕の涼しい時間帯が 捕殺しやすいため地際部被害がみられた ら周辺株元を掘って捕殺も行う。ガード ベイトA (300 g/1a) 使用しても良い。
／	5 月下旬	③ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) コテツフロアブル (5mℓ) トップジン M 水和剤 (6.6g)	10,000 倍 2,000 倍 1,500 倍	20ℓ	（立枯病）、（灰色かび 病）、（オオタバコガ）、 ヨトウムシ類、ハダニ類	① トップジンM水和剤は、地表面も散布し、 立枯病の発生を予防する。 ② アブラムシの発生が多い場合には、速効 性のコルト顆粒水和剤 (4000 倍) 使用。
／	6 月中旬	④ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) スミチオン乳剤 (10mℓ) アルバリン顆粒水溶剤 (5g) ポリオキシン AL 水溶剤 (4g)	10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍 2,500 倍	30ℓ	灰色かび病、うどんこ 病、ヨトウムシ類、アブ ラムシ類、コナジラミ 類、アオムシ、アザミウ マ類、ハマキムシ類、 ハダニ類	① 梅雨時期は、立枯病の発生が多くなりま す。その場合ユニフォーム粒剤を 2 kg/1a 地表面に使用。
／	6 月下旬	⑤ 展着剤 ハイテンパワー(1mℓ) プレオフロアブル (10mℓ) トップジン M 水和剤 (6.6 g)	10,000 倍 1,000 倍 1,500 倍	30ℓ	立枯病、灰色かび病 オオタバコガ、ヨトウム シ類	① オオタバコガが多発する時期になるため 農薬が葉裏にまでかめるように薬剤散布 する。
／	7 月上旬 （着蕾時）	⑥ 展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) アフエットフロアブル (5mℓ) コテツフロアブル (5mℓ) ⑦ 粘着シート（青）設置	10,000 倍 2,000 倍 2,000 培	30ℓ 5 枚	灰色かび病 オオタバコガ、ヨトウム シ類、ハダニ類	① 着蕾期から薬剤の汚れに注意し、展着剤 をブレイクスルーに切り替える。 ② アブラムシ類の発生がある場合には、ア ディオン乳剤 (2000 倍) を加用する。
／	7 月中旬 （下葉かき後）	⑧ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) ダコニール 1000 (10mℓ) プレオフロアブル (10mℓ)	10,000 倍 1,000 倍 1,000 倍	30ℓ	（茎腐れ） オオタバコガ、ハスモン ヨトウ	② 荷作り後のムレ防止のために、下 葉かき後に殺菌剤ダコニール 1,000 倍液を使用する。
／	前回より 5 日後	⑨ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) フルピカフロアブル (5mℓ) ディアナ SC (2mℓ)	10,000 倍 2,000 倍 5,000 倍	30ℓ	灰色かび病、うどんこ病 オオタバコガ、（ハマキ ムシ類）、ヨトウムシ類、	① ディアナ SC は 2500 倍まで散布可能とな っているため。オオタバコガ、アザミウ マ類の発生が多い場合には倍率を濃くし て使用する。
／	7 月下旬 ～ 8 月上旬 （収穫前）	⑩ 展着剤 ブレイクスルー(1mℓ) ポリオキシン AL 水溶剤 (4g) アフーム乳剤 (10mℓ)	10,000 倍 2,500 倍 1,000 倍	30ℓ	灰色かび病 オオタバコガ、ハマキム シ類、ヨトウムシ、アザ ミウマ類	① チョウ目害虫の発生が著しい場合には、 フェニックス顆粒水和剤 2000 倍を使用 する。 ① アブラムシ類、コナジラミ類の発生がみ られた場合アルバリン顆粒水溶剤の 2,000 倍を加用する。

たかが一本、されど一本！その一本で 0 にも 100 にもなります！！

当防除暦の複製・コピーを禁止します

農薬使用基準

	薬剤名	薬剤系統	適用病虫害名	希釈倍率	使用回数
殺菌剤	ユニフォーム粒剤	メタラキシル M アゾキシストロビン	立枯病、（疫病）	18kg/10a	5 回以内
	リゾレックス水和剤	有機リン系	苗立枯病	1, 000 倍	5 回以内
	オーソサイド水和剤 80	キャプタン系	立枯病、茎腐病、苗立枯病	600 倍	8 回以内
	ゲッター水和剤	ベンズイミダゾール系	灰色かび病	1, 000 倍	5 回以内
	トップジン M 水和剤	ベンズイミダゾール系	菌核病、（立枯病）	1, 500 倍	5 回以内
	ポリオキシシ AL 水溶剤	ポリオキシシ剤	うどんこ病・灰色かび病、ハダニ類	2, 500 倍	5 回以内
	フルピカフロアブル	メパニピリム	灰色かび病	2, 000 倍	5 回以内
	アフエットフロアブル	ペンチオピラド	灰色かび病	2, 000 倍	3 回以内
	ストロビーフロアブル	ストロビルリン系	さび病	2, 000 倍	3 回以内
	ダコニール 1000	有機塩素系	（茎腐病） うどんこ病	1, 000 倍	6 回以内
殺虫剤	ノーモルト乳剤	I G R 系(キチン合成阻害)	ヨトウムシ類	2, 000 倍	2 回以内
	オンコル粒剤 5	カーバメイト系	アザミウマ類	6kg/10a	3 回以内
	㊦モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド系	アブラムシ類	4, 000 倍	5 回以内
	アルバリン顆粒水溶剤		アブラムシ類 コナジラミ類	2, 000 倍	5 回以内
			ハモグリバエ類	1, 000 倍	
	アフーム乳剤	マクロライド系	ハモグリバエ類・オオタバコガ・ヨトウムシ類・ミカンキイロアザミウマ	1, 000 倍	5 回以内
	プレオフロアブル	ピリダリル	オオタバコガ・ヨトウムシ	1, 000 倍	2 回以内
	㊦コテツフロアブル	ピロール系 （呼吸阻害剤）	ヨトウムシ類・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類	2, 000 倍	2 回以内
	オルトラン粒剤	有機リン系	アザミウマ類・アブラムシ類・ヨトウムシ類	3～6kg/10a	合わせて 5 回以内
	オルトラン水和剤		アザミウマ類・アブラムシ類・ヨトウムシ類・オンシツコナジラミ	1, 000 倍	
	スミチオン乳剤		バッタ・アザミウマ類・ハマキムシ類・アオムシ・ウリハムシ	1, 000 倍	6 回以内
	コルト顆粒水和剤	ピルフルキナゾン	コナジラミ類・アブラムシ類	4, 000 倍	4 回以内
	ディアナ S C	スピノシン系	オオタバコガ・アザミウマ類・ハモグリバエ類・（コナジラミ類）	2, 500 倍～ 5, 000 倍	2 回以内
	アディオン乳剤	ピレスロイド系	アブラムシ類・カメムシ類 ハマキムシ類・ヨトウムシ類	2, 000 倍	6 回以内
	ガードベイト A		ネキリムシ類	3kg/10a	

取り寄せ

*農薬混溶順 水 → 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 水溶剤 → フロアブル剤 → 水和剤